

事務事業評価シート2 (一般事業)

1 基本情報

事業番号		0145/150715/01/02		事業の種類	4	
年度	20	事務事業名	生きがい交流センター管理運営事業	作成日	重要度	5
予算事業名	高齢者生きがい対策事業		担当課名	健康福祉課		
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり					
施策名	高齢者福祉		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	相生市生きがい交流センターの設置及び管理に関する条例 相生市高齢者生きがいと健康づくり推進事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者等				
	誰(何)を対象として	生きがいと健康づくり				
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の文化的活動のための場の提供と高齢者の教養と健康づくりのためのセミナーの開催。				

2 事業の概要 D0

実施の概要	市民の文化的活動の場の提供 各種セミナーの開催					
活動実績	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画
	一般利用者数	人	18,904	19,427	17,928	19,000
	生きがいセミナー出席者数	人	3,872	4,149	4,116	4,200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.085	102.4	0.083	97.6	0.084	101.2	
	主幹以下職員	0.090	0.080	88.9	0.080	100.0	0.100	125.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	1,487,454	1,435,665	96.5	1,379,958	96.1	1,563,264	113.3	
	事業費	8,236,250	8,008,250	97.2	7,910,501	98.8	7,586,000	95.9	
	合計	9,723,704	9,443,915	97.1	9,290,459	98.4	9,149,264	98.5	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	9,723,704	9,443,915	97.1	9,290,459	98.4	9,149,264	98.5	
	合計	9,723,704	9,443,915	97.1	9,290,459	98.4	9,149,264	98.5	

4 評価指標

[有効性]

指標名1	一般利用者数								
指標説明(式)	一般利用者数								
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	20,500	-	19,000	92.7	
	実績	18,904	19,427	102.8	17,928	92.3			
指標名2	生きがいセミナー出席者数								
指標説明(式)	生きがいセミナー出席者数								
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	4,500	-	4,200	93.3	
	実績	3,872	4,149	107.2	4,116	99.2			

[効率性]

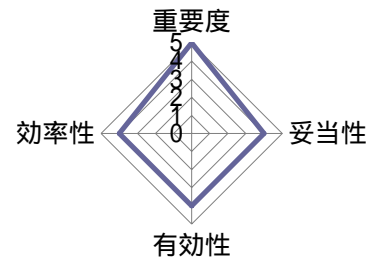
指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費 / 利用人数(一般利用者 + 生きがいセミナー出席者数)							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	362	340	93.9	359	105.6	327	91.1	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	老人福祉センターの機能を移管した施設であり、市民の教養の向上と健康の増進の機能を果たしている。	4	4
	市民ニーズ	利用人数は増加傾向にあり、また、多種多様なセミナーの講座があり市民のニーズは高い。		
有効性	成果目標(改善)達成度	利用人数は増加傾向にある。	4	4
	市民サービス	多様な講座により、利用者にあつた講座の受講が可能であり、教養の向上と健康の増進、また閉じこもりの防止にも貢献している。		
効率性	コストの節減	指定管理者制度の導入により、低コストで高サービスの運営に努めている。	4	4
	手段の最適性	指定管理者制度により18年度より社会福祉協議会に委託している。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた21年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	市民ニーズの高い新たな講座の開設や指定管理者の自主事業の実施により、施設の有効利用を促進する。
H20	H21予算反映額	0

(2) ヒアリング時指摘事項

--

検討の有無	-
総合指標	24